
未来から過去へ

吉吉雄雄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来から過去へ

【Nコード】

N6249R

【作者名】

吉吉雄雄

【あらすじ】

あなたはどんな未来を望みますか？

争いごとのない世界？

みんなが笑顔でいられる世界？

病気にかからない世界？

あなたの理想の未来はなんですか？

ある日、一人の人物が日記を書いている

今、私は素晴らしいこの世を賞賛して書いてみる。

まず、完全な食糧配給制。「食糧配給」というと、「食料に乏しい」と、思われがちかもしれないが、そうじゃない。完全にコンピューターが健康のことを考えてちゃんと管理されてるんだ。

だから、今じゃ誰も”太った人”なんかいないし、生活習慣病にだって誰もかからない。

ちよつと不満なのは、好きなときにお菓子が食べれないことだけどね。でも、驚いたことに、こういう配給制をするとヤミ市なんかが出てくるもんなんだけど、それが無い。それは今の制度があるからなんだ。

今の制度はとてもビックリするものがあるよ。生まれた時から、これからつくだろう、「筋肉」「知力」「視力」「死期」がわかるんだ。しかもそれが今まで外れたことがない。決して予知能力者がいるわけじゃないんだ。全部コンピューターが予測してくれる。それで、これから死ぬまでどうやって生活するかもコンピューターが決めてくれる。

コンピューターが決めた行動にそぐわなければならぬ。それはこの世界の決まり。この制度を取り入れているのはこの国だけじゃないんだ。

本当なら人権保護団体なんかがいちやもん付けてくると思うだろ？ 残念ながらそんな団体はもうないんだ。機械が今の人間を支配している。だから、人間同士の争いはない。

人間同士の争いが無いことはほんとうに素晴らしいことだ。今は機械同士が争っているが、決して無駄な被害は出さない。相手の必要などころにだけ、攻撃ができるんだ。人間にはそれができないだろ？

第二次世界大戦のヒロシマへの核投下なんかがいい例だ。無意味な犠牲を払ってまで戦争を終わらせる意味がどこにある？

今、人間は抵抗しようという力がない。抵抗出来ないんだ。もっと早く、これがこんなモノだと気づいていれば抵抗していたかもしれない。だが、今はそれでいいとみんな思っている。悪いことではないんだから。

私はこのコンピューターの基礎を作ったものとしてこの手紙を君たちに贈ろう。これは冗談とかそんなモノではない。もし、未来を変えることができるとしたら、君はまずこの私を殺して欲しい。確かに素晴らしいが、私にはこの世界に干渉する資格なんてないのだ。

未来は君たちの中にある。是非考え、行動し、君たちの理想の世界を作って欲しい

手紙はここで終わっている。

その数年後、確かに「画期的な健康管理ができるプログラム」が開発された

(後書き)

みんなが望むだろう世界を考えながら書きました。

争いがないことが素晴らしいのでしょうか？

未来が完全に分かることは素晴らしいのでしょうか？

それは違うと思います。人間という存在があるからこそ素晴らしい世界は出来上がると思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6249r/>

未来から過去へ

2011年4月18日04時58分発行